

廃棄公用車の寄贈による国際支援について

参 考 資 料
議 員 懇 談 会
政 策 課
令和 6 年 7 月 24 日

1 寄贈車両

(1) 消防ポンプ自動車

項目	消防ポンプ自動車		
車名	日野デュトロ	導入年度	平成 17 年度 (2005 年度)
全長	5,200mm	全幅	1,880mm
全高	2,500mm	車両重量	4,010 kg
最大積載量	—	車両総重量	4,450 kg
最大搭載人数	8 人	最大搭載馬力	110kW/3,000rpm
総排気量	4,000 cc	燃料の種類	軽油
参考写真			
仕様	消防ポンプ (A2 級) を搭載した消防車両		

(2) 指揮車

項目	指揮車		
車名	日産キャラバン改	導入年度	平成 15 年度 (2003 年度)
全長	4,850mm	全幅	1,690mm
全高	2,200mm	車両重量	1,850 kg
最大積載量	750 kg	車両総重量	3,040 kg
最大搭載人数	8 人	最大搭載馬力	88kW/5,200rpm
総排気量	1,990 cc	燃料の種類	ガソリン
参考写真			
仕様	ワンボックス車両を消防専用にはん装・人員および資機材の搬送		

2 寄贈先

ウガンダ共和国ナンサナ市（地区）



あしなが奨学生出身で元あしなが育英会職員のマトブ・ジョセフさん（34）。母国ウガンダで、ナンサナの市長（Mayor of Nansana Division）

ナンサナで生まれ育ったマトブさん。11歳の時に両親を病気で亡くし、あしなが育英会が同市に開設していた遺児の心の癒しの家「あしながウガンダレインボーハウス」に通いはじめた。2010年、あしなが育英会の留学プログラムで早稲田大学へ入学。ウガンダ人留学生のコミュニティを引っ張っていく過程で、「リーダーになりたい」と自覚した。

「日本を見て、この国の制度が、住民に責任感を持たせていることに気づいた。私たちも、自ら行動して国を変えないといけない」と思ったという。

大学卒業後、後輩の遺児支援のため本会に就職。6年後、自分の出身コミュニティを改善したいという想いで退職し、立候補の準備を始めた。

「安定した仕事を辞めて確実ではない政治家の道を追いかけるのは間違いだと、周りの人に散々言われました」。自身も不安だったが、「母国に帰って成功できることを、ウガンダの後輩に証明したかった。仕事の機会も少ないから、母国に帰るのは正直怖い。しかし、その環境は変えられるものだと見せたかった」。今後5年間、ナンサナを引っ張っていく。力を入れたいのは教育、医療と人材育成、そして国際化だという。「ナンサナを世界に開放したい。特に、日本とナンサナの懸け橋になりたい」